



ききょう便り

令和7年 新年号(第80号)



「デイサービス利用者様と利根商業高校OBバンドの皆様」

「年頭にあれこれ」

監事 倉品 延恵



明けましておめでとうございます。皆様にも施設にも平穏な年でありますようにお祈り申し上げます。

さて、昨年末被団協がノーベル平和賞を受賞しました。核廃絶や被爆体験はこれからも語り続ける責任があると、日本人だれしも感じたことでしょう。同時に思い出すのが沖縄です。住民を巻き込んだ激しい地上戦により20万を超える人が亡くなったといわれます。1972年に沖縄が日本に返還されましたが、私が初めて沖縄に渡ったのがその6年後でした。当時、車は右側通行で市場には見たことのない野菜やフルーツ、カラフルな魚、鳴き声以外は全て食すという豚の部位が並び、街にもスーパーにもアメリカがあふれていました。うちな一ぐちで話し掛けられても全く答えられませんでした。そんな中、至る処に残っていたのが防空壕です。米軍基地の多さや闊歩する米兵達には驚きと戦争の名残りを痛感しました。隣のおじいの弾く三線に合わせて歌う民謡やカチャーシーの陰に、辛い歴史が隠れていることも忘れてはいけません。

そんな沖縄を皮切りに我が家の転勤生活が始まりました。日本中を旅して9度目の引っ越しで沼田に落ち着いたわけです。地名を耳にただけで記憶の導火線が作動し、その時の子供の様子や友達、食べ物、土地柄がつつらと思ひ出されます。それらは私の宝物であり今もほんわかと心を暖めてくれます。

いつかある患者さんが医師に『先生ごめんなさいね。私も年取るの初めてなもんでどうしたらいいかわかんないの』と話したそうです。明日のことなんてわかりませんよね。“楽しいから笑う、笑うから楽しくなる”また“笑顔は副作用のない薬”とも言います。これらの力強い言葉を支えに、前向きに笑って年を重ねていきたいと思っています。ね、そうしましょうよ。

社会福祉法人 桔梗会

特別養護老人ホームききょうの里
ききょうの里短期入所生活介護事業所
ききょうデイサービスセンター
ききょうの里居宅介護支援事業所
沼田市在宅介護支援センターききょう

ききょうデイサービスセンター岡谷
ききょうヘルパーステーション

〒378-0002
群馬県沼田市横塚町957番地2
TEL 0278-23-8831
FAX 0278-23-8832

〒378-0061
群馬県沼田市岡谷町687番地
TEL 0278-23-8861
FAX 0278-23-8852

ききょうデイサービスセンター岡谷

ききょうデイサービスセンター岡谷は、1日の利用定員が12名までの小規模なデイサービスです。家庭的な雰囲気の中、畳のお部屋でゆっくり過ごして頂いています。そこで、日々の活動や外出行事の様子をご紹介します。



生方理事長の協力の下、畑で四季折々の野菜を作っています。毎年8月には、昼食に「夏野菜カレー」を作り、利用者様に召し上がって頂いています。



毎月1回、皆様に協力して頂き、おやつ作りをしています。「ねぎ味噌おやき」「焼きそば」庭の田んぼで採れたお米を使って「新米おにぎり」等を召し上がって頂きました。



毎月カレンダーや壁飾りを作り季節を感じて頂いてます。個人作品も無理のないよう、ご自身のペースで取り組んで頂いています。



昔懐かしい遊びや脳トレ、リハビリ体操などを楽しみながら活動しています。



5月は、沼田公園の散歩に出掛けました。つつじが満開で綺麗でした。



9月は、川場村の田んぼアートに出掛けました。今年のテーマは『日本酒』でした。

令和の米騒動もあり、改めてお米のありがたみを感じましたね。



6月は、高山村の道の駅に行きました。足湯に入りリフレッシュしてきました。



☆行事紹介☆

カラオケ大会 🎵🎶 トイ・慰問



職員の娘さんが友達を誘ってくれて、歌やダンスを披露してくれました。利用者様も歌を歌い楽しまれていました。



利根商業高校OBバンドの方達が演奏しに来てくれました。涙を流しながら聞いていた利用者様もいました。



ききょうデイサービスセンターで餅つきをしました。利用者様の掛け声と共に職員が一生懸命ついたお餅を美味しく食べていました。



ユニット型では、クリスマス会をやりました。利用者様全員へプレゼントが届いたようです。



書き初め

筆を持つと表情が変わり、真剣に書き初めしていました。



歳末たすけあい運動



12月に沼田市長、沼田市共同募金委員会長（議長）、社会福祉協議会長が来所し歳末たすけあい運動として施設で暮らしている方々に見舞品のリンゴを贈呈してくれました。利用者様のおやつに提供させて頂き、美味しくいただきました。

「新年のご挨拶」

施設長・理事 堤 佳史

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。旧年中は当会の事業運営に皆様のご支援、ご協力を賜り感謝と御礼を申し上げます。

さて、ご存じの方もいらっしゃると思いますが、昨年の秋に当会に所属する高井晴代職員が黄綬褒章※1を受章致しました。簡略化して高井晴代職員の経歴についてご紹介させていただきます。平成15年10月1日より特別養護老人ホームききょうの里の介護職員として勤務し、主任、係長、課長へとキャリアアップを積み上げてきましたが、課長職は相談員業務を主に行う事になり、介護業務を行わないため、本人から定年を前にもう一度介護業務を行いたいと強い希望があったので、令和3年4月に係長として介護業務を行っております。勤務中には、平成17年に介護福祉士を合格し、平成30年11月には群馬県社会福祉大会において群馬県知事賞を受賞し、勤務年数は現在で22年目となります。勤務態度は極めて真面目で後進の指導には熱心であり、今回の受賞は相応しい人物であると素直に思います。

受賞にあたっては、昨年11月26日にホテルニューオータニにおいて厚生労働大臣より伝達式があり、その後は皇居宮殿内の春秋の間で今上天皇に拝謁したとの事でした。

受賞後に出勤した本人から「職員みんなの協力があって受賞する事が出来ました。とても感謝しています。これから何年働く事が出来るか分かりませんが、この褒章に恥じぬよう精進致します。」との報告があり、高井晴代職員の力強く自信があり頼もしい姿に心を打たれました。

私自身もこの先何年勤務する事が出来るか分かりませんが、高井晴代職員を見習って精進せねばと、身が引き締まる思いで新年を迎えております。

※1黄綬褒章とは、農業、商業、工業等の業務に精励し、他の模範となるような技術や事績を有する方に与えられる褒章です。



黄綬褒章〈業務精励〉

施設福祉課第1施設介護係長 高井 晴代

黄綬褒章という素晴らしい賞を頂き本当にありがとうございます。ききょうの里で働いてきた20年を振り返りますと、イライラする事や利用者様に寄り添えない日も多々あり、本当に私で良いのだろうか・・・と申し訳ない気持ちが殆どなのですが、選んで頂いた事は有り難く思います。又、20年以上続けられたのは家族の協力や利用者様とのふれあいは勿論ですが、職場の協力があってこそだと思っております。今後もこの賞に恥じないように職場の人たちと協力し利用者様に寄り添いながら仕事をしていきたいと思っております。本当にありがとうございました。



☆編集後記☆

明けましておめでとうございます。

昨年は、職員が黄綬褒章という素晴らしい賞を頂き、年の終わりに明るい話題があり良い一年でした。今年も明るい話題をお届けできるといいなと思います。職員一同、精進して参りますので今後ともよろしくお願い致します。

総務課 高橋 由香里

